

4

暑い季節を快適に

教師用指導例

6年 開隆堂版 p.13

めあて

暑い季節をすずしく過ごすため、住まい方や着方のくふうをしよう。

【学習指導要領との関連】内容 C 快適な衣服と住まい

(1) 衣服の着用と手入れについて、次の事項を指導する。

ア 衣服の働きが分かり、衣服に関心をもって日常着の快適な着方を工夫できること。

イ 日常着の手入れが必要であることが分かり、ボタン付けや洗濯ができること。

【アクティブ・ラーニングを意識した授業の流れ】

1 課題を見つける

- 説明 1
- 前の時間では、「すずしい住まい方のくふう」を学習しました。今日は、暑い季節を快適に過ごすための服装について考えます。
- 指示 1
- 家庭科楽習ノートの13ページ、【①調べよう】。暑い季節の服装と寒い季節の服装を比べています。寒い季節の特徴を参考にして、暑い季節の服装の特徴を表に書きましょう。
- ※寒い季節の着方とどのように違うのかをおさえる。教師用書の赤字の例以外に、以下の性質について触れてもよい。
- ・保温性…熱を逃がしやすいか
 - ・通気性…空気を通しやすいか
 - ・吸水性…汗をよく吸い取るか
 - ・透湿性…湿気を外に逃がしやすいか

2 課題を追究する

- 発問 1
- 夏休み、家族でとある山に行くことになりました。山で気持ちよく快適に過ごすためには、どんな衣服を着て行きますか。
- (→これだけでは決められない)
- どんな情報があれば持って行く服装を決められますか。
- ・行く土地の最高気温（昼）と最低気温（夜）
 - ・行ったところで何をするか
 - ・どんなところに泊まるか
 - ・どれくらい泊まるか
- ※その他、適宜必要な情報を子供たちとやりとりしながら板書する。
- 説明 2
- 山での情報は次の通りです。
- ※板書か事前に書いておいた紙を掲示する。
- ・最高気温25度、最低気温10度
 - ・山登りをする
 - ・テントで泊まる
 - ・1泊2日
- 発問 2
- 家族で山登りをする事になりました。どんな衣服を着て行きますか。

- 指示 2
- 自由ノートに必要な服装とその理由を書きましょう。
- ※【山に行くときの服そう（表）】（別紙 PDF）に記入することもできます。
- (例)

着ていく物 持っていく物	数	特徴 (そで・えり・色・布の厚さなど)	理由
Tシャツ	2	半そで、白、うす手	熱中症にならないようにするため。
パーカー	1	水をはじく素材のもの	夜は気温が下がるし、雨がふるかもしれないから。
タンクトップ (下着)	3	汗を吸い取る素材のもの	日中あせをかいた場合と、夜ねる前に下着をかえて、はだを清潔に保つため。
長ズボン	1	のび縮みする、うす手	テントでねるとき、虫さされを防ぐため。
ぼうし	1	風通しがよいもの	山は日差しが強いから。

- ※早くできた子、または教師の意図する服装を書いている子に、自分の考えた服装を板書させる。
- ※一通りの服装を3～4人程度板書させ、それについて次に討論する。

3 討論する 4 異なる考えを認める

- 指示 3
- 黒板に書かれた意見に、質問や付け足し、反対意見がある人はいますか。立って意見を言います。
- 質問、反対意見が出されたら、書いた人は必ず立って答えます。
- 答えられない時は、『調べます』や『答えられる人いますか』と聞いてみます。
- ・Tシャツと半ズボンには反対です。山の中を歩く時に、けがをしないように長そで、長ズボンを着た方がいいと思います。
 - ・山登りのときはあせをかいて不衛生なので、かえの下着も持って行くとよいです。
 - ・帽子を付け足した方がいいと思います。暑くて熱中症になるかもしれないから、頭を守った方がいいと思うからです。
- ※天気や気温、活動に合わせた着方だけでなく、アウトドアではあせやよごれが衣服につきやすいことを想定して、着替えを用意する等の工夫もおさえる。

5 まとめる

- 説明 3
- 天気や気温、活動に合わせた着方で、暑い季節でも気持ちよく快適に過ごすことができます。
- 発問 3
- 先ほど「あせやよごれが衣服につくため、着替えを用意したほうがよい」という意見が出ていました。衣服がよごれたままにしておくと、なぜよくないのでしょうか。
- ※ノート p.13 【②調べよう】で衣服をよごれたままにしておくとよくないわけをまとめる。

山に行くときの服そう

年 組 番 なまえ

[illegible]